

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 クラスターテクノロジー 株式会社
 コード番号 4240 URL <http://www.cluster-tech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 安達 稔
 (氏名) 成瀬 俊彦

TEL 06-6726-2711

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	330	△23.4	△34	—	△25	—	△27	—
21年3月期第2四半期	431	—	△20	—	△22	—	△24	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△477.41	—
21年3月期第2四半期	△424.60	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第2四半期	1,913		1,810		94.6		31,796.73	
21年3月期	1,949		1,837		94.2		32,274.14	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,810百万円 21年3月期 1,837百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	726	△6.7	△120	—	△114	—	△118	—	△2,075.31	

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	56,928株	21年3月期	56,928株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	56,928株	21年3月期第2四半期	56,928株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年から続く世界的な金融危機による景気の悪化を受け、企業における大幅な在庫調整や生産調整という事態に直面しましたが、その後、各国の積極的な景気刺激策により、第2四半期累計期間における景況はやや持ち直しました。企業収益も若干ながら回復の兆しが見られますが、失業率の増大、個人消費の低迷等、先行見通しについては、予断を許さない状況にあるといえます。

このような中で、当社は既存市場の拡大と新製品の事業化と共に生産の合理化、品質向上に経営資源を集約してまいりました。具体的な取り組みとしては、営業・マーケティング本部では、製造本部との連携により、大手エレクトロニクスメーカーからの受注確保に注力し、十分とはいえませんが、期初予想に近い実績を上げることが出来ました。更に、開発本部との連携により、パルスインジェクターの販売活動にも力をいれ、研究者へのDM等実施いたしました。開発本部では、大手企業や研究機関の研究費節減により昨年比大幅減となりましたが様々なバリエーションをもったパルスインジェクターを開発してユーザーを掘起す計画であり、また、中長期的なアプリケーションテーマを模索すべく、研究機関、大学、大手企業へのヒヤリングを実施いたしました。

事業別の状況は次のとおりであります。

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業である、パルスインジェクター及び精密成形品の当第2四半期累計期間の売上高は2億42百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業である、成形碍子、成形碍子用複合材料及び金型部品の当第2四半期累計期間の売上高は82百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

その他事業

医療品容器の異物検査事業の当第2四半期累計期間の売上高は5百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は330百万円（前年同期431百万円、前年同期比23.4%減）、売上総利益は134百万円（前年同期158百万円、前年同期比15.2%減）、営業損失は34百万円（前年同期20百万円）、経常損失は25百万円（前年同期22百万円）、四半期純損失は27百万円（前年同期24百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

① 当第2四半期末の財政状態

財政状態につきましては、総資産は1,913百万円となり、平成21年3月期末に比して36百万円減少いたしました。これは主に、固定資産の増加14百万円及び現金及び預金の減少63百万円によるものです。また、純資産は1,810百万円となり、平成21年3月期末に比して27百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

また、自己資本比率は、平成21年3月期に比して0.4ポイント増加の94.6%となりました。

② 当第2四半期におけるキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、34百万円（前年同期11百万円の収入）の支出となりました。主なマイナス要因は、税引前四半期純損失25百万円及び売上債権の増加11百万円等であり、主なプラス要因は、減価償却費の6百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、27百万円（前年同期33百万円の支出）の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出26百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2百万円（前年同期2百万円の支出）の支出となりました。要因は、長期借入金の返済による2百万円によるものです。

この結果、現金及び現金同等物の減少額は63百万円となり、当四半期累計期間末におけるの現金及び現金同等物の残高は、147百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました通期業績予想に対する修正は行っておりません。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,166,572	1,230,167
受取手形及び売掛金	102,749	91,625
商品及び製品	13,457	8,250
仕掛品	21,938	23,729
原材料及び貯蔵品	19,290	25,158
その他	6,584	2,758
流動資産合計	1,330,593	1,381,690
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	319,716	323,325
土地	240,988	240,988
その他(純額)	17,276	0
有形固定資産合計	577,981	564,314
無形固定資産	580	0
投資その他の資産	4,087	3,801
固定資産合計	582,649	568,115
資産合計	1,913,242	1,949,805
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,339	25,494
1年内返済予定の長期借入金	4,212	4,212
未払法人税等	4,594	6,276
賞与引当金	13,382	10,765
その他	40,975	49,765
流動負債合計	89,504	96,514
固定負債		
長期借入金	12,822	14,928
その他	791	1,060
固定負債合計	13,614	15,989
負債合計	103,118	112,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	1,393,981	1,393,981
利益剰余金	△824,578	△797,400
株主資本合計	1,810,124	1,837,302
純資産合計	1,810,124	1,837,302
負債純資産合計	1,913,242	1,949,805

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	431,027	330,340
売上原価	272,159	195,681
売上総利益	158,867	134,658
販売費及び一般管理費	179,060	169,644
営業損失(△)	△20,192	△34,985
営業外収益		
受取利息	3,920	3,515
助成金収入	—	6,019
その他	328	247
営業外収益合計	4,248	9,783
営業外費用		
支払利息	207	170
支払保証料	—	84
株式交付費償却	6,200	—
その他	124	—
営業外費用合計	6,532	254
経常損失(△)	△22,476	△25,455
税引前四半期純損失(△)	△22,476	△25,455
法人税、住民税及び事業税	1,695	1,722
法人税等合計	1,695	1,722
四半期純損失(△)	△24,171	△27,177

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△22,476	△25,455
減価償却費	24,092	6,221
長期前払費用償却額	257	86
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,900	2,616
受取利息及び受取配当金	△3,920	△3,515
支払利息	207	170
売上債権の増減額(△は増加)	48,776	△11,124
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,033	2,452
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,460	845
未払消費税等の増減額(△は減少)	219	△6,133
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,536	△1,543
その他の負債の増減額(△は減少)	△17,607	3,218
その他	6,328	40
小計	13,748	△32,108
利息及び配当金の受取額	92	73
利息の支払額	△308	△271
法人税等の支払額	△1,866	△3,444
法人税等の還付額	—	1,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,665	△34,201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,312	△19,368
定期預金の払戻による収入	19,258	19,315
有形固定資産の取得による支出	△32,329	△26,511
無形固定資産の取得による支出	△336	—
差入保証金の差入による支出	△1,000	—
その他	—	△775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,720	△27,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,106	△2,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,106	△2,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,161	△63,648
現金及び現金同等物の期首残高	168,587	210,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	144,425	147,204

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。